

聴導犬とともに に生きる

NPO法人MAMIE 理事長 安藤美紀

自己紹介

- 生まれつき全く耳がきこえない。しゃべれない。言葉の訓練で高校生で今並みに話せるように。会話は口の形を見て読み取る。
- 産経新聞社の制作局で記事入力・校正をしていたが、出産のため、退職（24歳） 積水ハウスで働きながらシングルマザーとして息子を育てる（27歳） 「聴導犬・聴覚障害を広める」「障害児の学ぶ場を増やす」をメインにNPO法人MAMIEを設立（34歳）。

日本聴導犬パートナーの会 理事長

公益社団法人聴導犬推進協会 理事

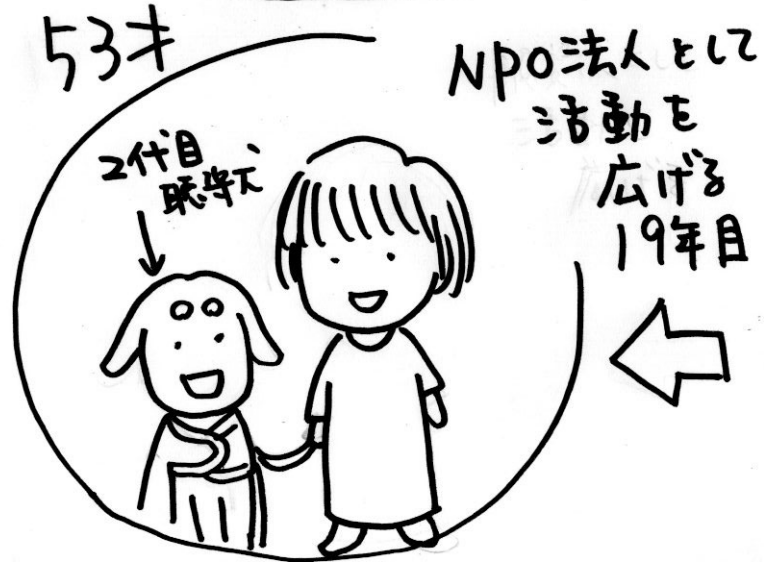
鹿児島補助犬プロジェクトの協会 副理事長

ユニバーサルデザイン演劇「みきまる座」 座長

安藤美紀のコミュニケーション方法



これまでの歩み



NPO法人MAMIEの活動



困りごと

新幹線の多目的室は
電子版文字がないため
今は予約しなくなった



新幹線は指定席
をとるけど隣の人に
気を遣う。
(障害者のための
スペースがいろいろ)
ベビーカー、子どもが
大をさわる

車いす、ベビーカーのための
スペースはあっても
ベビーカー、車いすがきたら
遠慮してほしい
(ほじお下マークがあると)
ありがたい

移動するとき、歩きスマホ
がタタいておけるのが大変

多目的トイレはいつもいろいろ

障害者割引は
緑の窓口で並ぶ
できたら切符売り場
か、ネットで購入
したい



嬉しかったこと



問題提起

「ひとりの人として受け入れる」

聴導犬ユーザーになって14年。気を付けてるのは

- ① 怒らない
- ② にこにこしてる
- ③ 相手の立場になって考える
- ④ 大切なのは思いやること
- ⑤ 大阪のおばちゃんとして「なんとかなるわ」